

豊仁小学校

所在地	〒531-0061 北区長柄西2-6-20	
電話番号	06-6351-0500	
校長名	塩田 武史	
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511015	

教育目標

【校訓】「禮・仁・学」
【教育目標】「生きる力」の育成

- 確かな学力
 - ・ 確かな学力をもち、学習に喜びを感じる子ども
- 人格の基盤である道徳性
 - ・ 礼の心をもち、それを表現できる子ども
 - ・ 思いやりの心をもち、自他のよさを受け入れる子ども
- 健やかな身体
 - ・ 健康でたくましい心身をもち、生命を大切にする子ども

沿革

明治40年	3月	豊崎尋常高等小学校(現豊崎本庄小学校)分校として設立
	44年 4月	豊崎第二尋常小学校として独立
大正	6年 11月	豊崎第四尋常小学校(現豊崎東小学校)が開校し、一部児童が分離
	9年 9月	豊崎第五尋常小学校が開校し、一部児童が分離
昭和16年	4月	大阪市立豊仁国民学校と改称 (豊崎第二の「豊」と「二」を「仁」として豊仁)
	20年 6月	空襲により全焼
	21年 4月	大阪市立豊崎東小学校に統合
	27年 6月	豊崎東小学校分校として再開校
	29年 4月	大阪市立豊仁小学校として独立
	37年 3月	創立50周年記念式典挙行
	41年 4月	標準服制定
平成	5年 2月	創立80周年、北校舎竣工記念式典挙行
	20年 10月	第45回全国家庭科教育全国大会会場校
	24年 2月	創立100周年記念式典挙行、校訓「禮・仁・学」制定
	27年 3月	校庭一部芝生化
	28年 11月	全国小学校道徳教育研究会近畿ブロック大会会場校
	29年 2月	大阪市小学校教育研究会総合研究発表会道徳分科会会場校
	30年 1月	文部科学省道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業指定校 大阪市道徳教育推進委員会研究指定校
令和	4年 3月	創立110周年記念式典挙行

学校運営に関する計画

本校では、平成24年度から教育目標を「生きる力(確かな学力、豊かな人間性、健やかな身体)の育成」とし、知育、徳育、体育の視点から教育を推進している。

《知育》

- すべての児童が、家庭環境等にかかわらず、学習習慣を身につけ、基礎学力を定着させることを目標とする。

《徳育》

- すべての児童が、自分から気持ちの良いあいさつができればよいことを目標とする。
- すべての児童が、規範意識を身につけ、だれに対しても公平公正な態度で接するようになることを目標とする。
- すべての児童が、「いいめはどんなことがあっていいことだと思う」ようになることを目標とする。

《体育・健康》

- すべての児童が、健康で健全な生活を営む生活意識を持つことを目標とする。
- すべての児童が、正しい食生活を身につけることを目標とする。

《特別支援教育》

- すべての児童が、障がいの有無を共有し、共に生きていくノーマライゼーションの意識をもつことを目標とする。

【安全・安心な教育の推進】

- 校内調査における「日本と外国の違いや似ているところを理解することができましたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 「はみがきをする」点検カードの達成率を90%以上にする。
- 給食のマナーについて、校内調査において、肯定的に答える児童の割合を92%以上にする。(R6年度 91%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ICTによって児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深める。
- 子どもの読書活動を推進するために読書環境の整備に取り組む。
- 仕事と生活の両立の調和(ワークライフバランス)を可能とする働きやすい環境を整備する。

※学校の年度目標を抜粋して掲載。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】



令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数	平均正答率(%)
67	67	

■結果の概要・取組の成果と課題

【結果の概要】

国語では、平均正答率は大阪市を1ポイント上回り、全国では-0.7であった。また、算数では、正答率は大阪市では5ポイント、全国では3.6ポイント上回った。平均無回答率では国語、算数ともに大阪市、全国よりもずいぶん少ない。児童一人一人が真摯に問題に取り組んでいたことがうかがえる。児童質問紙では、自尊心や自己肯定感、自他の尊重、規範意識などの項目も肯定的に回答する児童が多い。また、学習においては、ICTを活用した学習を進めている児童が多いことがうかがえる結果となっていた。

【取組みの成果と課題】

【国語】平均正答率は、「書くこと」においては大阪市を上回ることができ、「読むこと」においては、大阪市、全国平均を上回った。「話すこと」「聞くこと」においては大阪市、全国ともに下回っており、今後さらに充実できるよう取り組む。

【算数】平均正答率において、すべての領域において大阪市、全国を上回ることができた。引き続き、基礎学力の定着に取り組んでいく。

【質問紙より】基本的な生活習慣においては、大阪市、全国平均とほぼ同様の結果であるが、ゲームをする時間が他よりも長いという結果が出ている。また、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」に肯定的に答える児童は9割を超え、他者を思いやる児童が多いことがわかる。今後も取り組みを継続して、豊かな心の育成に努めていく。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	20mシットラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点	(種別別平均値)
男子	16.30	19.40	34.60	34.76	40.07	9.97	143.13	20.69	49.76	
女子	18.00	18.48	40.10	36.00	29.86	10.02	141.71	13.57	53.33	

■結果の概要・取組の成果と課題

結果の概要

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において体力合計点の平均を比較してみると、男子においては、全国とは2.77、大阪市とは1.37ポイント下回った。女子においては、全国とは0.59ポイント下回ったが、大阪市とは0.86ポイント上回った。また、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問項目においては、「好き」「やや好き」と答える児童が、男子では86.7%で全国とは6.5%、大阪市とは6.7%下回った。女子では80.9%と全国と比べると5.3%、大阪市とは3.6%と下回る割合であった。「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」では、男子は0%、女子は19%と大きな差があった。これらの結果から、男子は運動は好きだが、より効果的な運動が必要であること、女子は運動は平均的にできるが、意欲が上がっていないことが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

全ての学級において、体育科の学習のはじめには、準備体操として柔軟性をよくむ運動に取り組んだ。その結果、長座体前屈において全国では0.81ポイント、大阪市では1.81ポイント上回ることができた。これは日々の取り組みの成果である。今後もこの結果が継続できるように重点的に取り組みを続けていく。また、豊かなスポーツライフを送れるように児童自ら主体的に動くことができるような主運動を行う。

標準服

- 標準服(上下)を着用する。標準帽(校章入り)を着用する。
- 名札は校内のみで着用する。
 - 冬場のマフラー、手袋は登下校のみ着用してよい。
 - 寒いときは、上着の中にセーターやベストを着用する。ジャンパー、コートなどは着用しない

【男子】

シャツ(白色)・上衣、半ズボン、長ズボン(ともに紺色)

【女子】

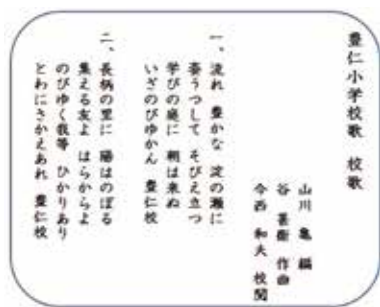
ブラウス(白色)・上衣、スカート、長ズボン(ともに紺色)



校訓



校歌



学校行事



入学式



修学旅行(鳥羽・伊勢方面)



林間学習(八チ高原)



作品展



学習発表会



マラソン記録会

学習の様子



地域



ワイワイサンデー



豊仁ジュニアソフトボール
ミニバスケットボール、ジュニアバレーボール



校庭キャンプ